

しおかぜ

No.06



病院長挨拶



白濱 龍興 病院長

早いもので銚子市立病院が再開されてから3年半が経ちました。内科外来のみでスタートした本院も、現在では内科、外科をはじめとした外来10診療科と混合病棟、療養病棟、外科系病棟合わせて128床を再開するところまで参りました。

検査体系も一般的な血液検査、X線、心電図検査および超音波検査や内視鏡検査に加え、精密検査機器を使ったCTやMRI検査と充実してきております。また、手術についても、従来の白内障手術に加え、内視鏡を使用した胃粘膜切除術や腹腔鏡下での胆嚢摘出手術なども始まりました。これからも、市民の皆様方のご支援と信頼をいただきながら、より良い病院を目指してまいります。

さて、本号では、近年罹患率・死亡率が増加傾向にある大腸がんに着目し、その検査率向上に向け、新しい検査である「大腸のCT検査」を特集いたしました。大腸がんの早期発見に大きく寄与する検査であり、本院でも受診される患者様が増えてきております。

理事長・院長方針である「博愛」「協調」「創造」「挑戦」を中心に据え、常に患者様の目線に立った医療の提供を志し、かつ職員一人一人が働きたくなる病院をつかっていきたいと思っております。

この「しおかぜ」も第6号、今後とも市立病院共々宜しく願い致します。

特集

大腸CT検査

特集～大腸CT検査

銚子市立病院では、近年特に女性の罹患率・死亡率が増加している大腸がんに着目し、その検診受診率向上に向け、新しい検査をスタートさせました。

それが「新しいスタイルの大腸がん検診」大腸CT検査(CTC)です。

この検査は体の外から撮影するCT写真によって、大腸内の病変を探していく、とても画期的な検査手法です。大腸全体の形状を把握し、その内部や位置関係を3次元的に描出する為には、高度な装置が必要となりますが、当院では最新式のCT装置を導入したことにより実現することが可能となりました。

体外から撮影した画像をもとに病変を探していくため、体内を直接覗く内視鏡検査と比較すると精度的にはやや劣りますが、まず大腸がん検診を受けて頂きたいとの思いから、当院では、医師を含め女性スタッフを充実させ、受けやすい検診の新メニューとして取り入れました。検査時間も20分程度で短時間です。

国立がん研究センターや千葉大学病院でも実施されている信頼できる検査です。

これまで、受診したいけれども、多量の下剤を飲む辛さや、大腸内をカメラが通る痛み羞恥心から受診を手控える方も多くいらっしゃると思っています。そんな方々に是非一度、受診していただければと思っております。

掲 示 板

銚子市の死亡原因第1位は「がん」です。その中でも胃がん、大腸がんの割合が多くなっています。原因はいろいろありますが、銚子市は風土柄、特に魚料理を多く摂る傾向にありますので塩分の過剰な摂取が懸念されます。塩分の摂りすぎは生活習慣病を誘発するとの多くのデータがありますので、是非食生活の改善にも取り組みたいものです。しかし、それらのがんは、早期発見・早期治療により治る病気です。「まだ自分は大丈夫だ、自分のがんにはならない」などと思いがちな、バリバリ働き盛りの30代～50代の方に、お気軽に是非一度大腸のチェックをお勧めいたします。



Q. どうすれば大腸CTC検査は受けられますか？

A. それでは、申し込みから検査結果報告までの簡単な手順をご紹介します。

1. <申込>

・お電話・窓口、いずれかで受付いただきます。

2. <来院>

検査2日前までに!!

- ①準備食を取りに来院
- ②問診(約10分)
- ③帰宅

3. <前日準備>

・来院時に指示された食事を摂り、就寝前下剤を飲む。

5. <2週間後来院>

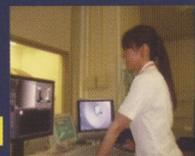
・結果報告(約10分)
※郵送での報告も可能です。

4. <当日>

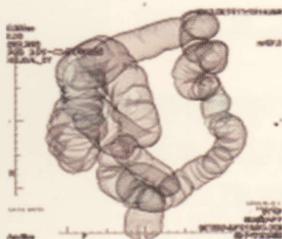
- ①問診(約3分)
- ②CTC撮影
- ③帰宅



CT画像データを用いて画像処理により3D診断を行います。



医師、放射線科スタッフが、親切に検査にあたっています。



※CT検査から作成した画像です。大腸の走行や位置関係が容易に把握できるだけでなく3次元的に観察することができます。このようなデータをもとに結果を慎重に作成しています。

【看護部】

インフルエンザの流行が近づいてきましたが、ワクチンの接種は毎年行っていますか？
ワクチンを接種することで発症を抑えたり重篤な合併症を予防し、健康被害を最小限にとどめる効果が期待されます。
併せて、普段からの体調管理にご留意ください。

- ① 睡眠を十分にとる
- ② ストレスをためない
- ③ バランスの良い食事を心掛ける
- ④ 激しいうがいは喉を痛めるので、ソフトでこまめなうがいを心掛ける
- ⑤ こまめな手洗いをする

【インフルエンザ予防接種予約開始】：平成25年10月 7日(月)

【インフルエンザ予防接種開始】：平成25年10月21日(月)

※ お電話にてお問い合わせください



【薬剤科】

<ワーファリン服用時の注意>

ワーファリンとは、血栓塞栓症(心筋梗塞・脳梗塞など)の治療中の患者様に対して処方される薬剤です。
この薬剤は、「ビタミンK」という成分を拮抗して血液を固まりにくくし、血栓を詰まりにくくする作用があります。
そこで注意すべき点がいくつかあります。

- ① 納豆を控えてください……納豆は腸内でビタミンKをつくるのでワーファリンの効き目を弱めます。
- ② クロレラ飲料、青汁、緑黄色野菜、海藻類もなるべく控えてください……こちらもビタミンKが多く含まれます。
- ③ サプリメントなどの購入の際は相談しましょう……ワーファリン服用中は必ず医療機関・薬局などに相談



【放射線科】

放射線科では季節ごとに受付周りを模様替えしています。

夏になればひまわりや花火、冬になるとハロウィンやクリスマスツリーなど、受診者の方に楽しんでいただくために、みんながアイデアを出し合って手作りで飾りを作成しています。

中には手の込んだ飾りもあり女性スタッフがコツコツと作成しています。ちなみに今の時期はハロウィン間近という事で、ハロウィンを意識した飾りでお出迎えしています。



【栄養科】

栄養科では、糖尿病、高血圧症、脂質異常症等の疾病をお持ちの患者様へ集団および個別の栄養相談を行っております。
集団栄養相談は毎月第4金曜日(10月25日を予定)、外来の個別栄養相談は毎週水曜日と金曜日を実施しております。
どちらも予約制となっておりますので、相談をご希望される際には内科の医師、看護師までお声掛けください。

【リハビリ科】

リハビリテーション科は今年2名の理学療法士が新たに入職し、6名体制(他助手2名)で入院・外来リハビリに対応しています。スタッフ数増員により、入院患者様一人一人に対するリハビリ提供時間も増えてきております。提供時間が増えてきた中で、身体機能の改善だけでなく、患者様の「生活の質」に重きを置いた質の高いリハビリテーションを医師、コメディカルスタッフを含めたチームで提供していくことを心掛けています。



【検査科】

採血について

採血により、まれにしびれや痛み・皮下出血・血圧低下・顔面蒼白・冷汗などが起こることがあります。中でも、神経損傷は1万回に1回くらいの割合で起こることがありますが、その90%は3か月以内に完全回復すると言われています。

当院では、採血のリスクを極力少なくするために、形状上深く穿刺しがちな従来の直針ホルダーではなく、リスクの少ない翼状針を採血に用いています。また、リスクを最小限にするために、患者様の声に極力耳を傾け、少しでも採血に伴う苦痛やリスクを軽減すべく努力いたしますので、情報提供などご協力をお願い申し上げます。





[糖尿病教室]開催について

糖尿病は生活習慣病の1つで、その治療には自分の生活習慣(食事、喫煙、運動など)を理解・管理する事が大切です。そのためには正しい糖尿病の知識を身につける必要があります。医師・看護師・管理栄養士がチームを作り教室を行っていきます。月1回程度の開催を予定しています。糖尿病について一緒に学んで行きましょう。(内科外来まで)



[平成25年度 第2回 防災訓練]



平成25年度第2回目の防災訓練が、10月30日(水)に実施予定です。不測の事態に備え、患者様の安全かつ迅速に避難できる経路の確保や、病院職員の一人ひとりの防災意識の向上、また建物の構造把握などを目的とし、医療安全管理室主導で行います。訓練のため、館内放送などご来院の患者様にご迷惑をお掛けすることがあるかと思われませんが、何卒ご理解ご協力の程お願い申し上げます。



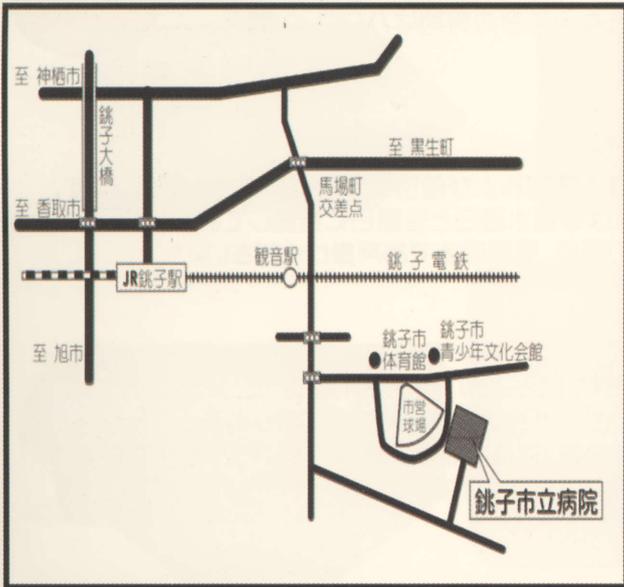
放射線科快挙!!



画論 The Best Image 2013 CT部門で上位入賞を果たし、12月15日に東京国際フォーラムにて行われる、ディスカッションならびに表彰式に出席することになりました。

日頃から常に向上心を持ち、ひたむきに業務と向き合う放射線科の皆様にあらためて心から敬意を表します。本当におめでとうございます!!

病院へのアクセス



お散歩スポット



当院西駐車場中央にある旧市立養老院跡の石碑です。現在は患者様、職員の駐車場として利用している敷地ですが、かつては市立の養老施設があったのです。日当たりもよく、さわやかな風の吹くこの地に、我々銚子市民の礎が、ひそやかにかつての面影を伝えています。秋のすがすがしい風を感じながら、歴史の散策をするのも、いいものですよ。

【編集後記】

平成25年度第2号目の発行にあたり、様々な部署よりご協力をいただきました。業務多忙の中、本当にありがとうございます。

さて、秋の訪れとともに食欲がもりもり湧いてくるのを感じます。旬の"さんま"など銚子ならではのすばらしい楽しみが待っていますが、つつい食べ過ぎてしまいますよね。適度な運動と、規則正しい食生活を心掛けたいものです。

しおかぜ
2013年 秋号
平成25年11月1日発行 第6号

編集・発行
〒288-0031
千葉県銚子市前宿町597
銚子市立病院 広報委員会
TEL 0479(23)0011
FAX 0479(23)0711